

広 報

とままえ

発行／北海道苫前町
編集／企画振興課広報広聴係



風かおる
人が輝き
躍動するまち

No.529
2005

9



苫前中学校の落成記念

8月24日同校体育館において、「ストロベリーダンスアワー」(あるある大辞典OPテーマ)で知られるBBBB(ブラック・ボトム・プラスバンド)コンサートが行われ、苫前中学校と古丹別中学校のプラスバンド部が「メリッサ」と「未来の地図」を合同演奏。前日には、中学生への直接演奏指導が行われプロ演奏家の技術に子どもたちも目を輝かせていた。コンサート会場には、予想を上回る300名の観衆が訪れ、全員総立ちの盛り上がりを見せた。また、翌日25日には生徒や教員、関係者ら111名が参列し同校落成式典が執り行われた。

まちの人口

人口／4,157人
男／1,956人
女／2,201人
世帯数／1,758世帯
(7月31日現在)

第2回北海道風車まつり

マツケンサンバで大熱狂

花風車公園・大型ふわふわが大人気



園の名称公募において「未来港公園」と決定。応募された佐藤麻美子さん（17才〃苫前）に賞状と記念品が贈呈された。

子どもたちに大人気の「マジレンジャーショー」では、多くの親子連れが会場いっぱいを訪れ、身を乗り出しながら、真剣に見入っていた。また、マジレンジャーとの記念撮影会には、ほとんどの親子が参加し、一人ひとりポーズを決めながら、思い出となる写真を手にした。

ものまねバトルショーでは、第一部において吉田美和（ドリカム）のものまねで有名な「吉田みゃあ」と、チューブや長

八月七日第二回北海道風車まつり（実行委員長藤田憲一）が、今年オープンした未来港公園で開催され、町内外から四千五百人の観衆を集め、大盛況となった。



マジレンジャーショーには、多くの親子連れが訪れ、記念撮影も長蛇の列となる



ものまねショーのフィナーレでは、ヨサコイチームとともにマツケンサンバで盛り上がる



ミラクルひかるにフラッシュの嵐



吉田みゃあ&だいすけのデュエット



りんりんのフェイスペインティングも大人気



大型ふわふわには、300人もの子どもが利用



花風車に息を吹きつける子ども

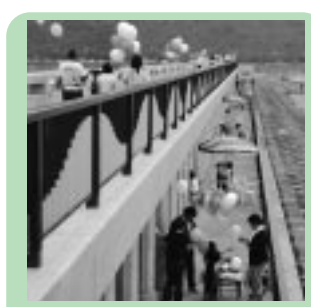


華麗な花風車公園を走り回り、思う存分楽しむ子どもたち
花風車づくりを体験する子どもたち

淵剛、アニメやドラマなどのものまねを多彩にこなす「だいすけ」が、観客を引き付けるとともに、第二部では「ダンシング谷村」が十八番の谷村新司や美川憲一のものまねで会場を大爆笑の渦に引き込むとともに、「ミラクルひかる」がそっくり度ナンバーワンの宇多田ヒカルのものまねで会場からはカメフラッシュが輝いていた。ものまねショーフィナーレでは、ダンシング谷村の「マツケンサンバ」が流れるとヨサコイチームも踊り手として参加。完璧な踊り手

にダンシング谷村も驚きの表情を隠せなかった。

一方、会場内に設置された花風車公園には、各学校や婦人団体、老人クラブ、文化体育団体など町内五十三団体の協力により作製された約五千五百本の花風車が設置され、さわやかな風に回る色鮮やかな花畑が、訪れた人々の心を和ませ、ピエロのりんりんや大型ふわふわなどの子どもアミューズメントコーナーでも順番を待つ子どもたちが、長蛇の列をつくっていた。



苫前漁港ダブルデッキ会場では、風車パネル展と漁港事業紹介パネル展が行われ、海のキャラクター（ポートンとベイクリン）が子どもたちを楽しませていた。



また、花風車づくり体験コーナーでは、百二十人もの親子連れが訪れ、コスモスやマーガレットなどの花風車を作製。夏休みの研究課題として、最後まで一人でがんばる子どももいた。

風の屋台村では、町内から二十三団体が出店し、メロンやスイートコーン、珍珠やニンジン、ヒル貝などの特産品のほか、ジンギスカンやカレーライス、ミニラーメンなどが販売され、中には売完がでるなどの賑わいを見せていた。
まつりは、午後三時三十分締めくくりとなる「お楽しみプロゼント付き餅まき大会」が行われ、来場者は風車まつりを堪能した一日となった。

風車と乳牛の共演

第53回 苫前町乳牛共進会

八月五日上平共同利用模範牧場において第53回苫前町乳牛共進会が開催され、町内酪農家十戸から自慢の乳牛四十頭が出陳され、優秀な牛を競い合った。

審査員には、(社)ジエネテイクス北海道十勝北見営業所の人見智亮氏を招き、各部門別に序列を決定。骨格や体のバランス、乳房の巾や形などを審査し、その評価は高く、酪農家たちは真剣に耳を傾けていた。

六部門審査の終了後、各部門で一位となった牛から、ジュニアチャンピオン(未經産牛)とシニアチャンピオン(経産牛)の審査が行われ、ジュニアチャンピオンに中嶋あゆ美さん(字岩見)出陳のクレスト・トリビュート・アレグロ(右下写真の



下)シニアチャンピオンに中嶋卓広さん(字右見)出陳のクレスト・トリビュート・アレグロ(右下写真の上)が選



ばれ、経産牛の乳房が優れた牛にベストアダー賞が贈られた。なお、各部門の成績は次のとおり(各部門一位のみ)

- 第一部(14ヶ月未満) TDCシルキー・メモリアルET(苫前町デイリークラブ) 第二部(14ヶ月以上18ヶ月未満) クレスト・トリビュート・アレグロ(中嶋あゆ美/岩見) 第三部(18ヶ月以上24ヶ月未満) フォーカスト・ダーラム・チャーマー(丹羽秀樹/岩見) 第四部(36ヶ月未満) フォーカスト・ルル・ダーラム(丹羽秀樹/岩見) 第五部(36ヶ月以上60ヶ月未満) クレスト・モードリン・リー・ブラッキー(中嶋卓広/岩見) 第六部(60ヶ月以上) クレスト・ジョハナ・リー(中嶋卓広/岩見)
- 第一〜三部は未經産牛。第四〜六部は経産牛で、一位の牛がそれぞれベストアダー賞受賞。

特別叙勲 故佐藤勇氏 旭日単光章受章



6月24日他界された佐藤勇さん(力昼)が、町議会議員3期12年の功績が認められ旭日単光章を受章。8月9日長男である佐藤勉さん(53才=力昼)へ西山

泰正留萌支庁長より特別叙勲の伝達が行われた。

佐藤さんは、昭和50年5月地域住民から推され苫前町議会議員に初当選以来、3期12年に亘り在職し、円滑な議会運営に尽力。産業経済常任委員会委員長、水道事業管理運営特別委員会委員長を歴任し、産業・経済の振興並びに住民生活基盤の安定に貢献された。

西山支庁長から「この叙勲を誇りに仏前にご報告され、この功績を讃えていただきたい」と叙勲が手渡され、佐藤勉さんは「町議会議員に推していただいた地域の皆様に感謝している旨を常日頃から口にしていた。四十九日の法要を控え、家族ともども墓前に報告したい」と父の功績をかみしめていた。

「文芸」

苫前町文芸を語る会

(短歌)

残されし人生願はば草の実のはじける程のかげけさでよし
 春先の異常気象にかかわらず今年の西瓜意外に甘し
 訪れし御霊誰ぞひようたんの葉に舞い降りる盃蘭盆の蝶
 介護する夫なき今も真夜さめて聞く秒針の目覚まし時計
 恋文を配達するか白き蝶二つに折るも行き先不明

栄 浜 横内 弘子
 長 島 水谷 露子
 古丹別 木幡とく子
 古丹別 住吉 美恵
 古丹別 大矢根亮子

(俳句)

故郷の 夏の渚に 詩ひろう
 朝顔の ピンクの色や 紅とひく

古丹別 桑 風
 古丹別 林 千代美

川 柳

気楽です 失う程の 財もなし
 いか刺しに 心をいやす 一人酒
 世界への 努力一途が 夢鬧く
 いか刺しと 雲丹で一杯 北の幸
 八十路まだ 盛つきり一気 ほして夏

古丹別 運上 吉雄
 古丹別 宮本 貞博
 古丹別 斎数 範章
 古丹別 関 武
 苫前 鎌田 信夫



より遅くなってゴールした子どもたち

暑さと豪雨に耐えた7日間 世界遺産知床(羅臼町)から584km 25名が走破し、感動!

オロロンふるさと塾自転車ツーリングに参加した小中学生25名が、7月29日世界遺産に指定された知床の羅臼町を出発し、584kmを見事走破し、8月4日羽幌中央公民館に全員でゴールを果たした。



羅臼町公民館からスタート



サッカー少年団との交流



1日走行100kmに挑む

子どもたちが楽しんでいったことは、常呂でのサッカー少年団とのドッチボールと口を揃える。「途中、鹿を見て感激した」という子もいた。



霧立峠も力強く登りきる



苫前町に入り、ペダルも軽くなる

今年4回目のこの自転車ツーリングは、羽幌町との合同により実行委員会(会長早川日出利)を組織し運営。両町の職員のほか、学生ボランティアも加わり八名が引率。羅臼町公民館を出発し、斜里町、常呂町、紋別市、枝幸町、美深町、土別市を経由し、一日平均約八三kmを走行。中でも標津町での登り一二kmにも及ぶ根北峠や紋別枝幸間の一〇〇km走行は、子どもたちを苦しめた。また、八月三日の美深士別間では、豪雨に見舞われ、ずぶぬれになりながらも懸命にゴールを目指した。そんな、辛い中でも子どもたちは、日に日に体力をつけ、互いに励ましあい、ペダルを踏み込む力をつけていったという。

霧立峠から苫前町に入り。苫前役場前では父兄や役場職員の声援を受けながら、いざゴールへ。軽快に山坂を乗り越え、保護者が待つ羽幌中央公民館前に午後4時、ゴールを果たした。苦難を乗り越え、充実感をみながら帰る子どもたちに、早川会長は「お帰りなさい。旅を通じて、みなさんは大きく、逞しくなつたように見えます。やればできる。努力することの大切さを胸に、これからもがんばってください」とねぎらった。子どもたちは、参加者全員で記念撮影をし、一人ひとりハイタッチで自宅へ帰っていった。



カニ釣りを楽しむ子どもたち

今年四回目となる「馬と遊ぶう！ホーストレッキング・イン・ウインピラ牧場」が七月三十一日上平グリーンヒルウインドファームで行われ、町内外から親子など三百名が来場し一日馬とふれあうとともに、緑に浮き出る白い風車群と日本海の景観を楽しんだ。

当日は天候に恵まれ、夏の日差しが照りつける中、ポニー三頭、ドサンコー〇頭が用意され、順番を待つ来場者が次々と乗馬を楽しんだ。また、会場には磯カニ釣りコーナーやダーツゲームが用意され、子どもたちは乗馬だけでなく一日ゆっくりと牧場を楽しんだ。



第4回馬と遊ぶう！ ホーストレッキングインウインピラ牧場



5kmコースで風車群を見上げながら乗馬を楽しむ参加者(上)、会場での引き馬を楽しむ親子(右)



主催する町商工会青年部の千葉勇一部長は「天気に恵まれ、良いイベントとなりました。補助金もなくなり厳しい台所ではありますが、是非来年も実施したい」と来年度開催への意欲を見せていた。

平和の願いをこめて

苫前町戦没者追悼式



参列者が白菊の献花を行い、御霊に哀悼の意を捧げる

参列者全員により「君が代」を斉唱し、サイレンと共に戦没者に対し、黙とうを捧げ始まった。森町長からは「戦後六十年を

戦後六十年を迎え、八月十九日無宗教での開催（十回目）となる苫前町戦没者追悼式が、苫前町福祉センター大ホールにおいて、遺族らと関係者六十五名が参列し、しめやかに執り行われた。追悼式は、午前十時五十分森晃一苫前町遺族会長より森町長（実行委員長）へ戦没者名簿を手渡し、祭壇に献上。



参列者が全員による黙祷

迎え、日本の平和と繁栄が、尊い犠牲により培われたことを改めて心に刻み、豊かな町づくりのため、なお一層の努力を致します」と式辞を述べた。引き続き、「追悼のことが星野町議会議長、北海道知事（留萌保健福祉事務所大畑哲社会福祉課長代理）、北海道連合遺族会長（初山別村遺族会成田邦好会長代理）、森晃一遺族会長から捧げられ、「私たち遺族の心は一つ、戦争は絶対あつてはならない、起してもならないとして、後世に語り継ぐことが使命と考えます」とつらく悲しい歴史と人命の尊さを偲び、感慨深く述べていた。更に、戦死された百二十二柱の御霊に、参列者らが白菊の献花を行い、としえの安らぎを願った。また遺族会では、追悼式終了後、午後零時十五分より苫前神社社務所において、招魂祭がしめやかに執り行われ、亡き御霊に哀悼の意を捧げていた。

短冊に願いを込めて！
古丹別保育所夏まつり



短冊に願いをこめ、まつりを楽しむ子どもたち

八月六日古丹別保育所（所長菊池典子）で「夏まつり」が開催され、七夕に合わせ子どもや保護者が短冊に願いをこめ、ゲームや盆踊りなどを楽しんだ。各家庭で七夕を楽しむ機会が少なくなり、例年二十日の後盆に開催していた同まつりを七夕と併せて実施。子どもたちは、「友だちがたくさんできますように！」と願いを込めるなど、それぞれの願い事を短冊に記し、柳の木に飾った。会場には、輪投げやおもちゃ釣りなどのゲームや、おでん、カキ氷などの出店が用意され、虫キングを目当ての子どもたちは、おもちやを吊り上げ大はしやぎ。また、友愛セールでは地域の方々が持ち寄った野菜やサイクル品が用意され、その売り上げの一部が同保育所へ寄付された。

ファイヤー通信

9月4～10日は『救急医療週間』
9月9日は『救急の日』

住宅火災防止対策用防災警報器の普及啓発について

建物の火災の約60%が住宅火災です。建物火災による焼死者は、約90%が住宅火災による死亡で、その6割が65歳以上の高齢者なのです。このような痛ましい事故を防ぐため、住宅用火災警報装置の設置が、消防法により平成18年6月1日からの新築住宅に義務付けられます。



また、現在お住まいの住宅にも設置措置経過年数が定められ、全ての住宅に設置が義務付けられることとなります。これに伴い、消防、役場では、関係機器の斡旋等は一切行っておりませんので、申し添えますので、これに関した悪質な訪問販売には十分ご注意ください。

火災警報器の購入は、最寄の電気店等にご相談下さい。

応急手当普通救命講習会

日時 9月9日(金)18:00～21:00
場所 消防署古丹別支署2階会議室
受講対象 15歳以上の町民

AEDを知っていますか？

AEDとは、自動対外式除細動器といって、心肺停止状態に陥った際、適切な電気ショック（除細動）を与える救急装置で、速く行うほど救命効果があることから、一般市民が救急隊到着前に行うことができるようになりました。今後、多くの方がAEDをはじめ心肺マッサージや人工呼吸などの救命手当を理解し、より多くの命が救われることが望めます。

火事・救急は119番！

北留萌消防組合消防署 苫前支署 64-2321
" 古丹別支署 65-4119

ふるさとまつり

帰省客らとの再会や仮装盆踊りにぎわう



ジャンケン大会には多くの子どもたちが参加（苫前）

八月十五日苫前、古丹別、力昼の三地区において、ふるさとまつりが開催され、帰省客らとの再会を楽しむほか、各グループなどの仮装盆踊りで湧き上がった。また、参加した女性や子どもらは、浴衣姿で盆踊りに参加。まつりを一層盛り上げた。



古丹別地区ではドラえもんが人気をあつめた



力昼地区ではお茶目な子ども仮装に大爆笑



仮装なのか？女装なのか？判らないが、とにかく勢いは抜群の苫前地区仮装盆踊り



子ども盆踊りやキックフアイヤゲームを楽しむ子どもたち



にドラえもんや案山子などに扮したグループが参加。また、苫前地区は、午後六時に子ども盆踊りで始まり、苫前鱗幸会のヨサコイで盛り上がり、仮装盆踊りには、チアガールやマツケンサンバなどが、参加者を和ませていた。一方、力昼では、午後八時に花火が打ち上げられ、楽しいまつりを締めくくった。

各会場では、焼き鳥やおでん、ビールなどの出店が立ち並び、故郷を味わいながら、帰省客との一年ぶりの再会を楽しんだ。

苫小総合学習町長講演

「苫前町の未来とまちづくり」



児童へ語りかける森町長

八月二十六日苫前小学校五、六年生が、総合学習の時間を利用して森町長を講師に「苫前町のまちづくり」について学習した。

森町長からは、苫前町の人口、面積、町の花木やまちの産業における一次産業の様子、古代の里やとままえ温泉ふわつと、風力発電施設などの町内施設を紹介。安心、安全なまちづくりや教育（人づくり等）、福祉・産業文化を大切にし、個性あるまちづくりの心がけている姿勢を分かりやすく説明した。

生徒からは、町民税の使い道や未来のまちづくりについての質問があり、「役場の仕事は未来を考え、子どもたちや高齢者が安心して暮らせるように努力しています」と答えていた。

一〇年前の思い出！タイムカプセルで甦る

九重地区開基百周年記念で開封式

明治二十九年に入植以来、今年で開基百周年を迎える九重地区において、十年前に埋められたタイムカプセルが開封され、思い出の品とともに、小さな時の思い出が甦った。



カプセルを開封する参加者

このタイムカプセルには、幼児から高校生の六十五名とその保護者が、当時の漫画や新聞、カレンダーなどを封印。九重神社境内に埋設されたカプセルを掘り起こし、九重コミュニティセンター前で、地域住民や当時の子どもたちが見守る中、開封式が行われた。

中には、「子どもに宛てた手紙があり、どんなことが書いてあるか楽しみ」と見守る保護者も。カプセルには、割れ目から水が入っていたが、思い出の品はビニール袋で収納され、無事開封。佐野進九重町内会長が「色々な思い出を込めたタイムカプセルを開封します。それぞれの思い出を掘り起こしてほしい」とあいさつ。一人ひとりに手渡され、親子で楽しむ姿もあった。

当時、最年長で看護学生だった嶋貫さゆりさん（旧姓松原28才）は、現在一児の母となり、「看護師を目指していたので、現在の生活は想像もしていなかった」と学生当時の実習資料などの思い出の品に、若き時代を甦らせていた。

開封式はこの後、森晃一さんから百十年の歴史について紹介され、大正十四年当時、南古丹別小学校校長谷崎蝶一郎氏が九重地区の情景を歌った「九線通し」を当時生徒だった真栗君江さんが披露し、百十年の歴史を偲んだ。



思い出の品が一人ひとり渡される



思い出の品を楽しむ参加者

開基百周年事業（実行委員長佐野進）では、今後九重神社鳥居の建立と記念誌の発行を予定している。

限界に挑む二五〇名の鉄人が完走！

出野選手(教諭)が過去最高の31位

今年十九回目となる日本海オロロンライントライアスロン国際大会が、八月二十一日留萌管内を舞台に開催され、苦前町から出場した四選手とリレー二チーム(三名)が見事完走。出野浩司選手(30才)が総合三十一位に入る健闘を見せた。

大会は、増毛港を午前六時三十分号砲とともにスタート。水泳二^キ、自転車二〇〇・九^キ、マラソン四一・八^キの総距離二四七・七^キで競われた。天候は穏やかな曇り空で始まったが、バイク後半の強風と夕方からの雨が選手を苦しめた。その中で、出野選手は、過去二回の記録を上回る自己



16年連続出場の伊藤優選手が古中卓球部の応援とともに感動のゴール！



341名の選手が増毛港を一齐にスタートする

苦前町ボランティアが担当する初山別第三栄エードで応援をうける三木昌子選手

ベストで、男子の部三十一位となる留萌管内五位でゴール。また、リレーの部では、赤松・川勝・三木選手チームが第四位、昨年優勝を飾った合田選手チームは、自転車競技の遅れを合田選手のマラソン競技で挽回し、十七位で完走した。自己ベストで管内第五位となった出野選手は、教え子とともにゴールテープを切り、「苦中プラスバンド部が、管内大会で金賞に輝く健闘を見せられ、自分も負けない気持ちで走りまし」と教え子の姿に後押しされ、完走できたことを喜んだ。また、リ

苦前町出場選手の結果

順位	氏名	水泳	自転車	マラソン	総合タイム
31	出野浩司	40:11	6:25:44	4:03:55	11:09:50
120	伊藤優	36:59	6:45:04	5:21:29	12:43:32
150	佐藤隆裕	42:33	6:49:00	5:34:05	13:05:38
1	リレーの部 苦前 IRONMAN-C	赤松 弥生 36:54	川勝 康弘 6:05:16	三木 昌子 4:22:57	11:05:07
4	リレーの部 苦前 IRONMAN-H	小田 雄介 24:06	川村 典子 8:23:06	合田真智子 3:59:50	12:47:02

レーチームのマラソンを担当し、第四位となった三木昌子選手は、「後半の十^キが苦しかったが、昨年の悔しさを思い出し、がんばりました」と自己ベストタイムに満足していた。

なお、大会は三千名のボランティアで支えられ、三百十七選手とリレー二十四チーム・七十二選手が出場し、二百五十選手と二十三チームが完走。早川尚選手は自転車ゴール十^キ手前でタイムアップ。また、苦前町(古丹別)出身者である村上久美子選手(26才)もリレーチーム(セントラルスポーツ)で水泳競技に出場した。

苦前町地域通貨

第2次試験流通開始

8月20日から来年1月20日まで

通貨の種類

地域通貨券(500円相当)

ポイント券(2円相当)

地域通貨のルール

ポイント券及び地域通貨

券は、町内で利用でき、ボランティアのお礼などにも利用できます

地域通貨券(500P=500円相当)及びポイント券を貼った台紙1枚分(100P=100円相当)は、加盟事業者で利用できます(特定事業者の利用は地域通貨券のみ)

ポイント券台紙5枚分で、地域通貨券(500P)に地域通貨交換所で交換できます。

地域通貨券及びポイント券は、円との交換はできません。また、釣り銭は支払われません。

地域通貨券及びポイント券は、地域通貨交換所でどなたでも購入ができ、購入時には2%分の地域通貨ポイント券がもらえます。



地域通貨交換所 苦前町公民館特設会場 毎週水曜日

役場特設会場 毎週木曜日

開設時間 午前10時から午後3時

土、日、祝祭日は休み

取扱い事業者名

<一般事業者>

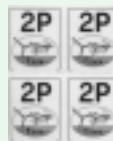
古丹別=大川商店、スーパー加納、木全金物店、菊地書店、黒川豆腐店、古丹別電化センター、サンエス、山海幸、島田商会、新光ビジネス、鹿内生花店、洋品のつちだ、中川靴・鞆店、西写真光学館、苦前自動車整備工業、苦前運輸、花井商店、藤観光バス、北栄自動車整備工業、マイルド商事、三田商店、東北建設、渡部工業、三溪=工藤商店、苦前=阿部豊店、猪股石油店、五十嵐商店、工藤商店、久保田商店、小泉商店、古谷水産、小阪商店、柴田商店、瀬川燃料店、西村燃料店、ニシムラ苦前店、苦前環境産業、千葉建設、北開建設工業、八代呉服店、スナックみこと、とままえ温泉ふわっと

<特定事業者>

北るもい漁協苦前支所(冷蔵庫) チューオースーパー古丹別店、セイコーマート古丹別店、セイコーマート苦前店、苦前町農業協同組合(オリーブ店、苦前店)

お問合せ先

苦前町地域通貨事業推進協議会(商工会内) 65-4121



9月 社会教育からのお知らせ



特別展示 エトピリカ (チドリ目ウミスズメ科)

納沙布岬沖の勇留島、秋勇留島に生息する海鳥で道内の生息数は30羽ほどで、天売島のオロロン鳥と同じように絶滅が危惧されています。エトピリカとはアイヌ語で「美しいくちばし」の意味で「波間に漂う美しい宝石」とも表現されています。

苫前町郷土資料館特別展 「北の動物展 北海道に棲む哺乳動物」

北海道の大地に棲む野生哺乳動物の剥製を展示しますので、野生動物との共存について考えてみませんか！

開催期間 9月6日(火)～9月27日(火)
入館時間 10:00～16:30
開催場所 苫前町郷土資料館
展示資料 氷河期の落とし子「エゾナキウサギ」他
13種、約30点を展示します。



主催：苫前町郷土資料館
協力：士別市博物館 / 旭川市博物館 / 富良野市博物館
/ 旭川市川村カ子トアイヌ記念館
詳しくは回覧でお知らせします。

室内ミニサッカー大会

日時 10月29日(土)
場所 苫前町スポーツセンター
対象 小学生の部(4年生以上)
中学生の部
(大会に合わせてサッカー教室を実施します。)
詳しくは回覧でお知らせします。



町民マラソン大会開催 期日の変更について

広報とままえ8月号で9月11日(日)に開催するお知らせをしましたが、選挙により次のとおり変更しました。

期日 9月18日(日)

体育の日
記念事業

「スポーツの“でみせ”！」 スポーツ少年団 / 町民体力テスト会

のお知らせ

体力テスト会

自分の体力を知り、みんなで健康づくりをしてみませんか！

日時 10月9日(日)
10:00～12:00
場所 苫前町スポーツセンター
区分 少年
一般64歳以下
一般65歳以上



主催：苫前町体育協会
苫前町スポーツ少年団本部
苫前町スポーツセンター

詳しくは回覧、新聞折り込みでお知らせします。

「スポーツの“でみせ”！」

様々なスポーツが楽しめます。だれでも参加できますので、興味のある方は是非どうぞ！

日時 10月9日(日)
13:00～15:00
場所 苫前町スポーツセンター
対象 全町民



～あなたの学びたいを応援します～

ご相談・お問い合わせは **苫前町公民館**

でんわ 65-4076

e-mail syakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp

HPアドレス <http://www.town.tomamae.lg.jp/>

大麦若葉そばを商品開発提案!

全道商業クラブ研究発表(苫商高)

八月二十四、二十五日の二日間、苫前町公民館を会場に、第四十一回北海道高等学校商業クラブ研究発表大会が開催され、全道の高等学校商業クラブ十四校九十二名が参加。地域の観光資源と経済効果や地産地消における商品開発などをテーマに、研究発表が行われた。



研究発表を行う苫商高生徒

開催校となる苫前商業高等学校(眞屋若男校長)は、全校をあげて開催運営に当たるとともに、同校商業クラブは、「苫前町の特産物を利用した商品開発(かぜのまちの活性化をもとめて)」と題し、特産物である大麦若葉を活用してのそば作りから、市場調査の状況を発表。そばの味も好評で、特産品として商品化の魅力も十分であることが伝えられた。

大会結果は、発表部門賞を獲得し、惜しくも全国大会への出場を逃したが、この苫商高商業クラブの商品開発から市場調査の取り組みが、全道への苫前町のPRへとつながった。

健康ばんざい

『生涯に通じる健康づくり』

今月の担当は鍵山栄養士です。

『食生活改善協議会』の活動は、「生涯に通じる健康づくり」をテーマにし、地域の人々のニーズに応え、正しい食習慣の普及・定着を目指し、自らの行動で、ボランティア活動に取り組んでいます。

同協議会は、昭和五十八年の「食生活改善推進員養成講座」からスタートし、推進員の普及が図られ、昭和六十三年十二月に設立され、今年で十七年目を迎え、現在三十五名の推進員により活動を行っています。

主な活動内容は、協議会内の研修の他に、地域の方々を対象

とする教室や講習会も行っています。また、町が主催する教室にもご協力いただいています。

妊産婦教室(ラッコクラブ)

妊婦と乳児をもつ母親を対象とした離乳食の調理実習を行い、下準備や調理をしながらお母さん達にいろいろな体験談をアドバイス。参加したお母さん達からも「初期・中期・後期の形態や進み方を実感できてよかった」等の感想も聞かれました。

ヘルシー料理教室

町内の婦人を対象として調理実習を行い、低カロリーで美味しい食事について学習。食のアイデアを出し合ったり、情報交換などを行っています。

+ Dr.小野の処方せん

メタボリックシンドロームについて



わが国では、脳血管障害、心血管病が全死亡の約30%を占め、癌に匹敵する。

高脂血症治療や高血圧治療が動脈硬化性疾患の予防に有効であったが、十分ではなかった。肥満、高脂血症、高血圧、糖尿病などが比較的軽症でも、3~4つ重なれば、全く危険因子のない場合に比較して、動脈硬化性疾患の発症率が30倍くらいになる。この病態をメタボリックシンドロームと呼称する事になった。

本年4月設定された診断基準は、内臓脂肪蓄積(ウエスト周囲径男性 85cm、女性 90cm)を必須項目とし、それに加え耐糖能異常(空腹時高血糖 110mg/dl)、高血圧(収縮期 130mmHg、拡張期 85mmHg) 脂質代謝異常(高トリグリセライド血症 150mg/dl低HDL-C血症 40mg/dl)のうち、2つ以上存在する事としている。

メタボリックシンドロームの対策の第一は、肥満の解消です。総摂取カロリーの制限、特に糖質の制限、運動療法により内臓脂肪を減らす。脂肪細胞から血管保護作用があるアディポネクチンが産生され、肥満者、糖尿病患者、高血圧患者では、低値であることがわかった。

苫前クリニック院長 小野哲郎



同協議会は、このような教室や研修会等を盛んに行い、自己学習をしながら、地域の人々の「食」への興味・関心を引き出していきよつ、多方面での活動を行っています。

今年度も、ヘルシー料理教室やその他の教室等への参加・協力を行っています。

美味しい食事と楽しい会話と学習を含めて行っているのです。一般の方もぜひご参加下さい。

今後予定されている教室についてはは回覧にて周知いたします。詳しくは、役場町民課けんこ係までお問い合わせ下さい。

他市町の協議会との交流会管内には留萌市、羽幌町、遠別町、苫前町の四市町に協議会があり、各協議会との交流会を年一回開催。意見・情報の交換を行っています。今年度は遠別町での開催となっています。

各会での活動

同協議会は、苫前地区(ポテトの会)と古丹別地区(マーガレットの会・パンプキンの会)に分かれ、それぞれの会での活動も行っています。昨年度、ポテトの会では、社会福祉協議会より依頼のあったシルバー料理教室への協力や、事業に参加できなかった推進員への伝達講習を行いました。マーガレット・パンプキンの会では、推進員を講師に、そば打ちを学習する活動も行いました。

みんなで築く

すこやかライフ

豊かな老後

国民健康保険・老人保健ガイド

みんなの国保Q&A

Q 国民健康保険の加入者は、どのような人ですか？

A 国保（国民健康保険）とは、病気やケガに備えて、お金を出し合い、みんなで助け合う制度です。職場の健康保険に加入している人や生活保護を受けている人などを除いて、その市区町村に住んでいる人は、みんな国保に入らなくてはなりません。

国保の加入者は、「お店などを営んでいる自営業の人」、「農業・漁業などを営んでいる人」、「退職して職場の健康保険などをやめた人」、「外国人登録をしていて、一年以上日本に滞在すると認められた外国籍の人」などです。

Q 国民健康保険税について教えてください。

A 保険税は、他の市区町村から転入してきたときや、職

場の健康保険などをやめたときなど国保の資格を得た月の分から納めます。届出をしたときからではありませんので、ご注意ください。

保険税を特別な理由もなく滞納すると

納期限を過ぎると督促が行われます。

それでも納めないでいると、通常の保険証の代わりに、有効期間を短縮した「短期被保険者証」が交付されます。

納期限から一年間過ぎると、保険証を返してもらい、代わりに「資格者証」が交付され、医療費をいったん全額自己負担していただきます。

納期限から一年六か月を過ぎると、国保の給付が全部または、一部差し止めになります。

差し止められた保険給付額から滞納分が差し引かれます。

この他にも、財産の差し押さえなどの処分を受ける場合もあります。

男の料理教室

ちゃんこ鍋

受講者募集

男の手料理は、女性にも喜ばれる。独身男性や日頃奥さんに家事をまかせっきりの方には、必見。この機会に「ちゃんこ」の味を習得しよう！

日時 10月5日（水）
午後6時30分～8時30分
場所 苫前町公民館
会費 五〇〇円 持参 工
ブロン 定員 二〇名 締
切 9月28日（水） 申込先
役場町民課けんこつ係（鍵山栄
養士）六五 一一一五 主催
北海道栄養士会留萌支部

介護保険・福祉Q&A

高額介護サービス費について

Q 高額介護サービス費って何ですか？

A 介護保険には、「高額介護サービス費の支給」という制度があります。これは、自己負担していただく金額の上限を設定し、一定額を超えたときに、申請書に領収書を添えて提出していただくことにより、上限額と自己負担額の差額を返納する制度です。

同じ月内に利用した介護保険サービスの自己負担合計額が一定額を超えたときに利用できます。また、同一世帯内に複数の高齢者がいる場合は、世帯内で合算することができます。上限額は右記の表のとおりです。



高額介護サービス費の上限（世帯合計）

一般世帯	37,200円
世帯全員が住民税非課税	24,600円
生活保護の受給者	
世帯全員が住民税非課税で 老齢福祉年金の受給者	15,000円

自己負担した費用金額が上記金額（食事代や日常生活費を除く）を超えた場合、超えた費用が返還されます。

お問い合わせ先 苫前町役場町民課しあわせ係
TEL 0164-64-2215（内線273）まで

マイプランをしっかりと

国民年金



国民年金を受給する皆様へ

誕生月が来たときは

現況届の提出を

国民年金を受給している方は、毎年、誕生日のある月に「現況届」を提出していただきます。

現況届は、一年に一回、誕生月に提出していただき、引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認するためのものです。現況届は、誕生日頃に社会保険業務センターから送られますので、年金受給権者の住所、氏

名や加給年金額対象者の氏名などを記入し、切手を貼って社会保険業務センターへ誕生月の末日までに提出してください。

なお、自分では記入できず親族など他の方が記入される場合は、受給権者の欄や加給年金額対象者の欄を漏れなく記入の上、「代理人署名欄」に代筆者の氏名、住所も必ずご記入ください。

現況届の提出が遅れたり、提出されなかった場合、年金の支払いが一時止まることもありま

た期間分を遡って年金が支払われますが、支払いまで一ヶ月程度かかります。

なお、九月生まれの方の現況届から、葉書に記入された個人情報保護のため、保護シールを貼って提出することができま

老齢福祉年金や二十歳前の障害による障害基礎年金を受給している方は、誕生月ではなく、毎年指定された期限までに、住所地の市町村に提出していただきます。

又、受けている年金の種類などで、医師又は歯科医師の診断書やレントゲンフィルム等が必要な場合があります。

現況届についてのお問い合わせは、北海道社会保険事務局留萌事務所（〇一六四 四三七二一）又は苫前町町民課住民係（六四 二二一五）まで。

「ご厚志に感謝します

苫前町への寄付

古丹別 坂田 葉子様
社会体育施設への寄付
古丹別 山崎 美恵子様

（ガラスショーケース）
社会福祉協議会への寄付
旭川市 石川 達司様

各団体クラブ等への寄付
（苫前婦人会・港町内会・栄浜町内会へ）
苫前 横内 靖子様

（九重町内会へ）
九重 堤 節子様
（九重白葉会へ）
九重 花井 幸重様

九重 堤 節子様
九重 清水 澄夫様
（古丹別老人クラブへ）
古丹別 鈴木 竹千代様

旭町内会・旭親老人クラブへ
旭川市 石川 達司様

戸籍の小箱

慎んでお悔み
申し上げます

氏名 年齢 死亡日 住所

花井 憲市 (80歳) 7月28日 九重
清水フミエ (79歳) 7月29日 九重

福田美和子 (60歳) 8月2日 苫前
鈴木フミエ (76歳) 8月2日 古丹別

坂田 梅夫 (74歳) 8月5日 古丹別

ご成長を

お祈り申し上げます

氏名 父・母 出生日 住所

天野治朗 (男) 公委/明美 7月26日 古丹別

未長くお幸せに

氏名(夫) 住所 氏名(妻) 住所

杉本晃典(力登宮本里香(古丹別)

スマイル 住まいる情報 Information

戦後海外から引き揚げて 来られた方々へ

税関では戦後、海外から引き揚げて来られた方々からお預かり致しました約87万件余りの下記のような未返還の保管証券類をお返しております。

終戦後、海外から引き揚げて来られた方々が、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券

帰国前に樺太（真岡、大泊、豊栄、留多加など）、満州（瀋陽、吉林、撫順、鞍山など）にあった在外公館、日本人自治会に預けられた通貨・証券等のうち日本に返還されたもの

返還の請求はご本人だけでなく、ご家族の方でも構いません。お気付きの方は、お気軽に最寄の税関までお問合せ下さい。

お問合せ先

函館税関 留萌税関支署

〒077-0048

留萌市大町3丁目37-1

電話 0164-42-0467

恩給欠格者、引揚者の皆様へ

恩給欠格者の方々、または引揚者の方々に内閣総理大臣名の書状等を贈呈しています。

旧軍人等で恩給等を受けていない恩給欠格者の方

終戦に伴い本邦以外の地域から引き揚げてこられた方

請求書類は、町民課住民係にあります。

資格要件などのお問合せは、独立行政法人平和記念事業特別基金まで

フリーダイヤル 0120-234-933

ホームページアドレス

<http://www.heiwa.go.jp>

苫前町の交通事故情報

平成17年7月末現在

発生件数 死者数 負傷者数
5件 0人 5人

交通事故死ゼロ日数は

7月31日現在で456日

風力発電のある風景 フォトコンテスト

風力発電機は、美しい近未来のエネルギー電源です。更なる普及の願いをこめて、皆様から素晴らしい「風力発電のある風景」の写真を公募いたします。入選作品は、様々な形で普及啓発に使わせていただきますので、四季折々の風景にたたくむ



美しい風力発電の写真をお待ちしています。

募集期間 十月三十一日まで
応募規定 サイズ自由
(プリントのみ応募可)

応募方法 住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号) 撮影日及び場所を明記し、一人五作品まで

入選発表 十一月下旬
最優秀賞 賞金五万円及び副賞「デジタル一眼レフカメラ」
優秀賞 賞金三万円及び副賞「コンパクトデジタルカメラ」

佳作 賞金二万円及び副賞
入選作品は、〇七年度カレンダー掲載
応募先及び問い合わせ先

日本風力発電協会
東京都千代田区神田松永町18
1ビル秋葉原ビル10F
電話 03・5297・5577
FAX 03・5297・5578

オータムジャンボ宝くじは、 1等前後賞合せ2億円!

- 1等 1億5,000円×24本
前後賞各2,500万円
- 2等 1,000万円×24本
- 3等 100万円が240本!
- 4等 5万円×36,000本
- 5等 1万円×240,000本
- 6等 3千円×1,200,000本

発売期間：9月26日～10月11日

抽選日：10月14日(金)

この宝くじは通信販売でも買うこともできます。

この宝くじ収益金は、市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。

昨年のオータムジャンボ宝くじ(第481回全国自治宝くじ)の時効(平成17年10月19日)が迫っておりますのでお忘れなく。

貸金業苦情相談専用 フリーダイヤル

～お悩みの方は相談を!～

北海道では、フリーダイヤルを設置し、貸金業利用者からの苦情相談を専門の相談員が、通話料無料で受付いたします。

また、フリーダイヤル以外にも道庁経済部金融課で相談員が対応しますので、ご活用下さい。

フリーダイヤル 0120-1-78372
受付日 毎週月曜日と金曜日
受付時間 10:00～12:00
13:00～16:00
受付内容 貸金業に関する苦情の申し立てまたは相談
北海道経済部金融課
011-231-4111
(内線)26-368

ETCを利用される 障害者への助成継続

障害者の方のETCご利用の促進を目的に、先着十五万人の方へ、車載器購入代金の一部として、一人一万円の助成をしています。あとわずかとなりますが、十一月三十日まで引き続きETC購入助成を継続しますので、ご希望の方は早めに手続き願います。

助成対象者 障害者割引制度の適用を受けている方

助成金額 一万円

手続方法 各福祉事務所・役場窓口等で「ETC車載器購入助成申込書」をお受取のうえ、ETC車載器購入助成係まで郵送下さい。

お問合せ先 財団法人道路サービス機構広報課(電話〇三五八〇四 一〇三八、アドレス <http://www.j-sapa.or.jp>)

ガソリンスタンドは かけこみ119番 連絡所

留萌地方石油業協同組合は、「救急救命119番/かけこみ110番」を実施しています。

困ったことがあったら、ガソリンスタンドが味方! こんな時は、普通救命講習修了者のいるガソリンスタンドへ

- ・交通事故にあった
- ・知らない人に誘われた
- ・ストーカー行為などを受けた
- ・暴力にあつた
- ・急に体調が悪くなった
- ・ひったくりにあつた



10月1日から7日は 公証週間です

遺言や大切な契約は公証役場で

公証証書は、国から任命された法律の専門家の公証人が作成する公文書です。遺言、離婚給付、金銭貸借、土地建物賃貸借など大切な契約を公証証書にしておくことで権利の争いを防ぎ、あなたの財産を守ります。

ご相談は、公証週間に関係なく土曜、日曜、祝日を除き無料で、また、電話でも行っていますので、お気軽にご利用ください。

旭川公証人合同役場
旭川市4条通9丁目 朝日生
命旭川ビル2階 電話0166・23・0098 FAX0166・22・5553
名寄公証役場
名寄市西1条南9丁目35
電話・FAX01654・33131

9月 町税の納期

今月は、
国民健康保険税
介護保険料
の納入月です。
納期内納入にご協力願います。

第2回北海道風車まつり花風車公園作品介绍



苫商高・苫中・古中生徒作品
(さつき・たんぼぼ・コスモス)



苫前小学校児童作品
(マーガレット)



古丹別小学校児童作品
(マーガレット)



デイサービス利用者作品
(さつき・たんぼぼ・コスモス)



老人クラブ連合会作品
(コスモス・さつき・たんぼぼ)



公民館サポーター作品
(チューリップ)



文化協会加盟団体作品
(マーガレット)



体育協会加盟団体作品
(コスモス・さつき・たんぼぼ)



古丹別婦人会・商工女性部作品
(はまなす・コスモス・たんぼぼ)



苫前町子ども会育成連絡協議会作品
(コスモス)



J A 苫前町女性部作品
(はまなす)



苫前保育園作品
(ひまわり)



苫前町陶芸の会作品
(リサイクル花風車)



苫前婦人会作品
(リサイクル花風車)



古丹別保育所作品
(ひまわり)

10月号では、町内の保育所（園）や小中学校の園児や児童生徒の作品を紹介します。
なお、10月号は古丹別保育所の幼児のみなさんです。

花風車ギャラリー

花風車ギャラリー

花風車ギャラリー

風力発電の売電状況

(町営分)

17年の実績(1月~7月分)

27,122,421円

平成17年6月分の実績

・供給電力量

99,440 kWh

1,247,723円

(設備利用率6.08%)

日本海オロロンライントライアスロン大会。今年十九回目が開催され、二百五十名の選手が鉄人の称号を手にした。しかし、この大会も来年二十回大会の開催は決まっているが、それ以降の開催は決まっていない。この大会は、毎年多くのボランティアの協力により、心のもった大会として、選手に大きな力を与えてきた。そして、九市町村が協力し合い、一つの大会を運営する姿は、他のイベントに見られないものである。しかし、ボランティアや選手も高齢化し、年々運営が厳しくなっているのも現状。いずれにしても、ここまで続けてきたことに對し、感謝したい。そして、来年二十回記念大会を大いに盛り上げてほしい。来年は友好町旧長島町からも参戦予定。

編集 雑記帳